

第69回都民体育大会バスケットボール競技 女子2回戦

5/8(日)東京体育館

練馬区 対 足立区 戦評

1回戦千代田区を 72-62 のスコアで勝ちあがり連日の 2回戦

今日の相手練馬区は 3月愛媛県で行われた全国クラブチーム選手権で準優勝した A.F.B.B の選手が中心のチーム。足立区の選手がどこまでできるのか、少しでも見せ場を作って欲しいと期待して観戦した。

第1ピリオド 足立区は#4、#5、#6、#12、#14 でスタート。

ファーストシュートは足立区#5 のカットイン、#6 のミドル、#4 のゴール下といずれも決まらずボールは練馬区。練馬区もシュートチャンスを決められず長い時間得点が入らない。練馬区#5 のポストプレーで得点が動き出した。

両チームとも高さを生かしチャンスを作るも決定力に欠け 13-15 の 2点ビハインドで第1ピリオド終了。

第2ピリオド 出だしは足立区の時間#5 から#4 の合わせ、#14 のゴール下、#6 のハイポストからのシュート、#6 のフリースローと足立区が得点をリードする。練馬区も#5、#8 のターンオーバーからの速攻#2 スリーポイントが決まり逆転。たまたら足立区 T.O を取るも T.O 明けも練馬区の攻撃が続き結局 27-36 で前半終了。

第3ピリオド このピリオドも出だしは足立区ペースで 3点差まで縮めるもここからミスが続く練馬区のガード陣に走られ簡単に点数を重ねられた。足立区も#4、#5 のセンターが得点を決めるも練馬区も#12 のミドル、#13 の速攻で 13点差。足立区最後の攻撃でも決定力に欠ける。こぼれたボールを#12 が遠い位置からスリーが決まり、同時にピリオドが終了。44-54 の 10点差で最後のピリオドに。

第4ピリオド ここまでほぼ選手交代なく最終ピリオドに入った足立区。出だしから練馬区のスピードについていけず一方的な時間が過ぎていく。このピリオド 5分が過ぎたところでようやく足立区が T.O。既に得点は 44-70。このピリオドまだ0点の足立区。T.O 明けに#14 のミドル、スリーと点数を入れ始めるも練馬区の走力についていけず最終結果は 53-86 と大差がついて足立区の都民大会が終了した。

選手層、実績のある相手と第3ピリオドまでは互角に戦えたことは足立区の底力を見せられたと思います。選手・スタッフの皆さんお疲れさまでした。